

事業群評価調査 (平成29年度実施)

基本戦略名	10 にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する	事業群主管所属	企画振興部新幹線・総合交通対策課
施策名	(1) 九州新幹線西九州ルートなどの人流・物流を支える交通ネットワークの確立	課(室)長名	早稲田 智仁
事業群名	① 九州新幹線西九州ルートの整備促進	事業群関係課(室)	新幹線事業対策室

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 九州新幹線西九州ルートは、西九州地域の産業振興や交流人口の拡大、離島地域の活性化等につながる重要な交通基盤であり、鹿児島ルートとともに一体的に整備することで九州地域の一体的浮揚をもたらすことから、早期完成・開業を目指します。また、新幹線を軸として、佐世保線等の県内鉄道の輸送改善に努めます。						(取組項目) i) 西九州ルートの平成34年度までの開業 ii) JR佐世保線高速化の輸送改善に向けた取組 iii) 西九州ルートの早期完成・開業を目指した整備促進	
指 標		最終目標 (H32)	目標 (H28)	実績 (H28)	達成率	(進捗状況の分析)	
事業群	土木工事・軌道工事の整備促進	概成 (H32年度まで)	—	—	—	西九州ルートは、平成28年3月29日、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム「九州新幹線(西九州ルート)検討委員会」(以下、「与党PT検討委員会」)、国土交通省、鉄道・運輸機構、長崎県、佐賀県、JR九州による関係六者において、対面乗換方式により平成34年度に開業すること、追加施設について地元の実質負担が生じないような措置を講じることなどを内容とする合意に至った。また、本年7月の軌間可変技術評価委員会の評価結果及びJR九州の見解を踏まえると、フリーゲージトレインを西九州ルートに導入することは困難と考えられることから、「与党PT検討委員会」でフル規格により整備していただくこと等を要望したところである。従って、現時点においては、与党PT検討委員会における議論の方向性をしっかりと見極めていく必要がある。	
関連指標 その他							

2. 28年度取組実績 (H29新規・補正は参考記載)

取組項目	事務事業名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					28年度事業の成果等	中核事業
			H28実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	28年度事業の実施状況 (29年度新規・補正は事業内容)	指標	主な目標	H28目標	H28実績	達成率		
	H29計画		一般財源	人件費(参考)	H29目標					—	—			
取組項目 i	新幹線・鉄道整備促進事業	H7-	24,128	24,128	40,210	国、市町、鉄道事業者等	九州新幹線西九州ルートの武雄温泉・長崎間の早期整備を目指し、国等への要望活動や県内向けの広報・啓発活動を行うとともに、県内鉄道網の整備ならびに改善の促進を図った。	活動指標	要望活動	数値目標なし	3	—	六者合意に基づく合意事項の確実な実現や山陽新幹線への直通運行も含め、これまで想定・計画してきた姿を実現すること等を国へ要望するなど、情勢に合わせた国への要望活動や効率的な情報収集活動に取り組んだ。	○
	新幹線・総合交通対策課	27,727	27,727	36,333	成果指標			西九州ルートの平成34年度までの開業	数値目標なし	—	—			
取組項目 ii	JR佐世保線輸送改善調査	(H29新規) H29	—	—	—	市町、鉄道事業者等	JR佐世保線輸送改善について検討の深度化を図る。	活動指標	佐世保線等整備検討委員会や幹事会など関係者との協議回数	—	—	—	JR佐世保線の輸送改善の方向性について長崎県、佐世保市、JR九州の3者で協議を行い、平成27年度に実施したJR佐世保線輸送改善調査結果の深度化を平成29年度に行うこととした。	
	新幹線・総合交通対策課	23,436	11,718	4,037	成果指標			調査の実施	—	—	—			
取組項目 iii	新幹線整備事業費負担金	H19-	10,461,825	57	0	鉄道・運輸機構	九州新幹線西九州ルートの建設に係る、鉄道・運輸機構に対する負担金	活動指標	負担金支出額(千円)	数値目標なし	10,461,825	—	九州新幹線西九州ルートの建設に寄与した。	
	新幹線事業対策室	25,838,298	133	0	成果指標	西九州ルートの平成34年度までの開業	数値目標なし	—	—					
	新幹線整備事業費	H21-	65,669	0	0	鉄道・運輸機構	九州新幹線西九州ルートの建設に係る、用地取得業務の委託	活動指標	用地取得率(%)	数値目標なし	95	—	九州新幹線西九州ルートの建設に寄与した。	
	新幹線事業対策室	52,520	0	0	成果指標	西九州ルートの平成34年度までの開業	数値目標なし	—	—					

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) 西九州ルートの平成34年度までの開業
継続的な要望活動、関係機関との調整の結果、着実に所要の整備予算が確保され、順調に工事が進められている。フリーゲージトレインについては、平成28年11月及び平成29年7月に軌間可変技術評価委員会が開催され、その後検証走行試験等が行われたが、これについても積極的に情報収集に取り組み、市町等との情報共有を図った。 新幹線開業に向けて気運を醸成するため、現在の活動に加えて沿線3市における広報・啓発活動の検討が必要である。 西九州ルートの整備のあり方については、与党PT検討委員会における議論の方向性などをしっかりと見極めていく必要がある。
ii) JR佐世保線高速化の輸送改善に向けた取組
平成28年度に長崎県、佐世保市、JR九州の3者で構成する佐世保線等整備検討委員会の幹事会を開催し、平成27年度のJR佐世保線輸送改善調査結果を踏まえ、今後の進め方について協議を行った。その結果、前回調査で検討した複数の輸送改善策のうち、在来線の高速化について実地調査を含む深度化調査を実施することとした。
iii) 西九州ルートの早期完成・開業を目指した整備促進
早期完成・開業ができるように鉄道・運輸機構や地元市町等と連携して、用地取得や工事の進捗を図っていく。

4. 29年度見直し内容及び30年度実施に向けた方向性

取組項目	事務事業名	29年度事業の実施にあたり見直した内容 (H29の新たな取組は「H29新規」等と記載、見直しがない場合は「―」と記載)	30年度事業の実施に向けた方向性		
			事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	新幹線・鉄道整備促進事業	―	―	西九州ルートの平成34年度までの開業に向けて、平成28年3月の六者合意における合意事項の確実な実現を図ること、山陽新幹線への直通運行の実現並びに対面乗換方式を固定化しないこと等について、国等に対する要望活動を継続的に行っていく必要がある。	現状維持
取組項目 ii	JR佐世保線輸送改善調査	H29新規	⑨	平成30年度以降においては、調査結果の分析を行い、JR佐世保線の輸送改善の方向性等について検討を深める。	終了
取組項目 iii	新幹線整備事業費負担金	―	―	西九州ルートの平成34年度までの開業に向けて、今後も鉄道建設費負担金を支出していく。	現状維持
	新幹線整備事業費	―	―	西九州ルートの平成34年度までの開業に向けて、用地取得業務の進捗を図っていく。	現状維持